



～浮辺小学校閉校記念式典～

「かしこく 正しく たくましく」を胸に



2月19日、浮辺小学校閉校記念式典が開催されました。閉校式には児童12人をはじめ、教職員、保護者そして地域の皆さんや卒業生など約200人が参加し、明治開校以来、多くの子どもたちを見守ってきた144年の歴史ある浮辺小学校との別れを惜しみました。児童たちは学校での心に残っている思い出を描いた絵とともに振り返り、これからに向けての新たな決意を全員で力強く述べ、厳粛な中にも感動の残る閉校式となりました。

閉校式終了後には、閉校記念事業実行委員会が制作したスライドショーの上映と記念碑の除幕式が行われました。



～全国学校保健および学校安全表彰～

松ヶ浦地区防犯パトロール隊が文部科学大臣賞受賞

令和4年度全国学校保健および学校安全表彰において、松ヶ浦地区防犯パトロール隊が「文部科学大臣賞」を受賞しました。

松ヶ浦地区パトロール隊は、平成21年から地域の有志による登下校の見守り活動として開始し、平成24年9月「子どもからお年寄りまで、安心安全に暮らせる環境を確立する」ことを目的として「松ヶ浦地区防犯パトロール隊」を結成しました。登下校時には、ベストと帽子を着用し目立つ格好で、児童の通学路を付き添って見守り活動を展開しており、児童が安心して登下校できています。また、活動中は児童と隊員が会話を交わすなど心の交流にも寄与しており、心温まる活動となっていることから、今回の受賞となりました。

2月3日には、松ヶ浦地区防犯パトロール隊の平石隊長と松ヶ浦小学校長が市長表敬訪問を行い、受賞の喜びを報告しました。平石隊長は、「発足10年目、松ヶ浦小学校150周年の節目の年に、地域の結束の証が評価され、名誉ある賞を受賞することができて嬉しい。今後も、松ヶ浦地区のために地域一丸となって、取り組みを充実させたい」と意気込んでいました。





～知覧特攻平和会館～

「疾風」が重要航空遺産に認定



知覧特攻平和会館で展示されている旧陸軍四式戦闘機「疾風」が一般財団法人日本航空協会から歴史的・文化的に価値の高い重要航空遺産として認定され、2月14日に認定書の贈呈式が行われました。

「疾風」は太平洋戦争後期に制式制定された日本陸軍の主力戦闘機で約3,500機が製造されましたが、現存するのは一機のみです。南九州市は、日本航空産業史上の貴重な遺産としてこれからも適切に保存してまいります。

～第70回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会～

川辺チーム 総合6位



2月18日から22日までの5日間にわたって、53区間、総距離583キロを走り継ぐ県下一周駅伝が開催されました。川辺チームは郷土入りの初日、序盤で出遅れたものの、後半巻き返し日間5位となりました。最終日には本市出身の源川竜也選手が7区で区間新の力走をし、日間6位。総合でも6位で大会を終えました。来年の巻き返しが期待されます。

～河川愛護優良団体の県知事表彰～

今年度は4団体が表彰されました！



2月7日、河川愛護運動に功績があった団体に対する表彰が南薩地域振興局で行われ、(写真前列右2番目から)瀬世下自治会・諏訪自治会・天神自治会・日吉自治会が県知事表彰を受賞されました。式では、竹内南薩地域振興局長より、「皆さまは河川敷の除草に取り組まれ、地域の生活を守り安全の確保に貢献された功績に敬意を表し深く感謝します」と祝辞を述べられ、また、市長は「今後も愛護活動に取り組んで地域の活性化を図っていただきたい」と、感謝とねぎらいの言葉を贈りました。

～市政懇談会を開催～

活発な意見交換が行われました！



令和4年度市政懇談会を新型コロナウイルス感染症の感染対策を行って、実施しました。

南九州市観光協会など3団体と開催した「市長とまちなかミーティング」では、団体側からアフター・コロナに向けた観光や産業振興などについてさまざまな提案がありました。

また、松山地区公民館では「市長と語る会」を実施し、地域が抱える課題などについて意見があり、それぞれ活発な意見交換が行われました。



まちの話題

みな、みりよく！
南九州市

～車イス2台を市へ寄贈～

二十歳の方から記念品を頂きました



2月14日、南九州市二十歳のつどい実行委員会からの記念品として、市へ車イス2台が贈られました。1月3日に開催された式典の参加者248人を代表して、市長室へ贈呈に訪れたのは、実行委員長の大坂甲羽さんと副実行委員長の大迫渉さん・清水梨花さんの3人です。

早速、知覧文化会館と穎娃文化会館へ1台ずつ設置させていただきました。二十歳の皆さんに深く感謝申し上げますとともに、皆さんの輝かしい未来を心から願っています。

～社会人に学ぶ講演会 知覧中学校～

自分に負けず 自分を信じて！



2月2日、知覧中学校で、「社会人に学ぶ」と題し、鹿児島実業高校からプロ野球へ入団した横田慎太郎さんを講師に、オンライン講演会を実施しました。

横田さんは生きることの大切さについて語り、「これからも辛い事、苦しい事があっても逃げ出さず少しずつ進んでください。互いに前を向いて歩いていきましょう」と話しました。

2年生の大隣鈴央さんは「横田さんの実体験を聞いて自分も頑張らないといけないと心から思った。部活も勉強も頑張りたい」と話しました。

～薩南工高校生が「箱わな」を寄贈～

イノシシから農作物を守って！



2月21日、薩南工業高等学校機械科3年生6人から「箱わな」が市に寄贈されました。同高校からの寄贈は昨年に引き続き2回目となります。

この「箱わな」は、課題研究実習の一環として生徒たちが製作しました。授業や放課後を利用して溶接や塗装を行い、約半年間の製作期間をかけて丁寧に仕上げました。

今後は、有害鳥獣捕獲活動で使用する予定となっており、市の農作物被害の軽減に大きく役立つものと期待されます。

～(有)南州メディカルより～

アルコール消毒液を寄贈



福祉用具のレンタルや販売および住宅改修を行っている(有)南州メディカルが、昨年度に引き続き、市内全小中学校にアルコール消毒液を寄贈していただくことになり、2月7日に松ヶ浦小学校にて贈呈式を行いました。社長が松ヶ浦出身で、「今年も南九州市に貢献したい」という強い思いから、今回の寄贈が実現しました。

消毒液は、既に市内各小中学校に配布され、新型コロナなどの感染症対策として、利用しています。



～肉バスツアー～

南九州市のファンづくりに向けて



もうご覧になられた方もいると思いますが、昨年10月から毎月1回、南九州市の魅力を広める肉バスが走っています。



1月は「二日市直前！デイブな商店街巡り」と題して川辺地域を中心に観光客の皆さんに散策していただきました。今後も南九州市のファンづくりのため、市外からお客様を迎えます。見かけた際は手を振ってくださいね。

～学校給食週間～

南九州市をまるごと味わう！



松山小で1月26日、「鹿児島県をまるごと味わう学校給食週間」に合わせ、栄養教諭と一緒に地元産の黒米や野菜をたっぷり使った給食を味わい、地元産の食材を通じて地域の魅力を実感し、感謝の心を育みました。

同週間で、学校給食センターは、黒豚すき焼き風うどん、きびなごのお茶風味揚げ、にんじんを使用したポニーさんぴらなど地元の食材を活用したメニューを提供しました。

～令和4年度 鹿児島県農業士認定証 交付式～ 本市から新たに3人が認定



2月8日、鹿児島市内のホテルにて令和4年度鹿児島県指導農業士・女性農業経営士・青年農業士認定証交付式が行われ、本市から女性農業経営士に月野香奈子さん（川辺町：ミニトマト）、青年農業士に飯伏周さん（頤娃町：茶）、東耕太さん（川辺町：フルクマ・かぼちゃ）の3人が新たに認定されました。[写真左：月野さん、写真右：東さん]

今回の認定により、本市では指導農業士が14人、女性農業経営士が33人、青年農業士が121人となりました。

～鹿児島県フラワーコンテスト～

カーネーションで特別賞受賞！



2月2日、かごしま県民交流センターで鹿児島県フラワーコンテストが開催され、山下尚志さんの出品したカーネーション『キューイン』が鹿児島県花卉園芸農業協同組合組合長賞を受賞しました。

また、南九州市からは生産者5人がカーネーション部門に18点、テッポウユリ部門に1点、そのほか切り花部門に8点の計27点が出品され、特別賞1点、金賞1点、銀賞1点、銅賞2点を受賞しました。